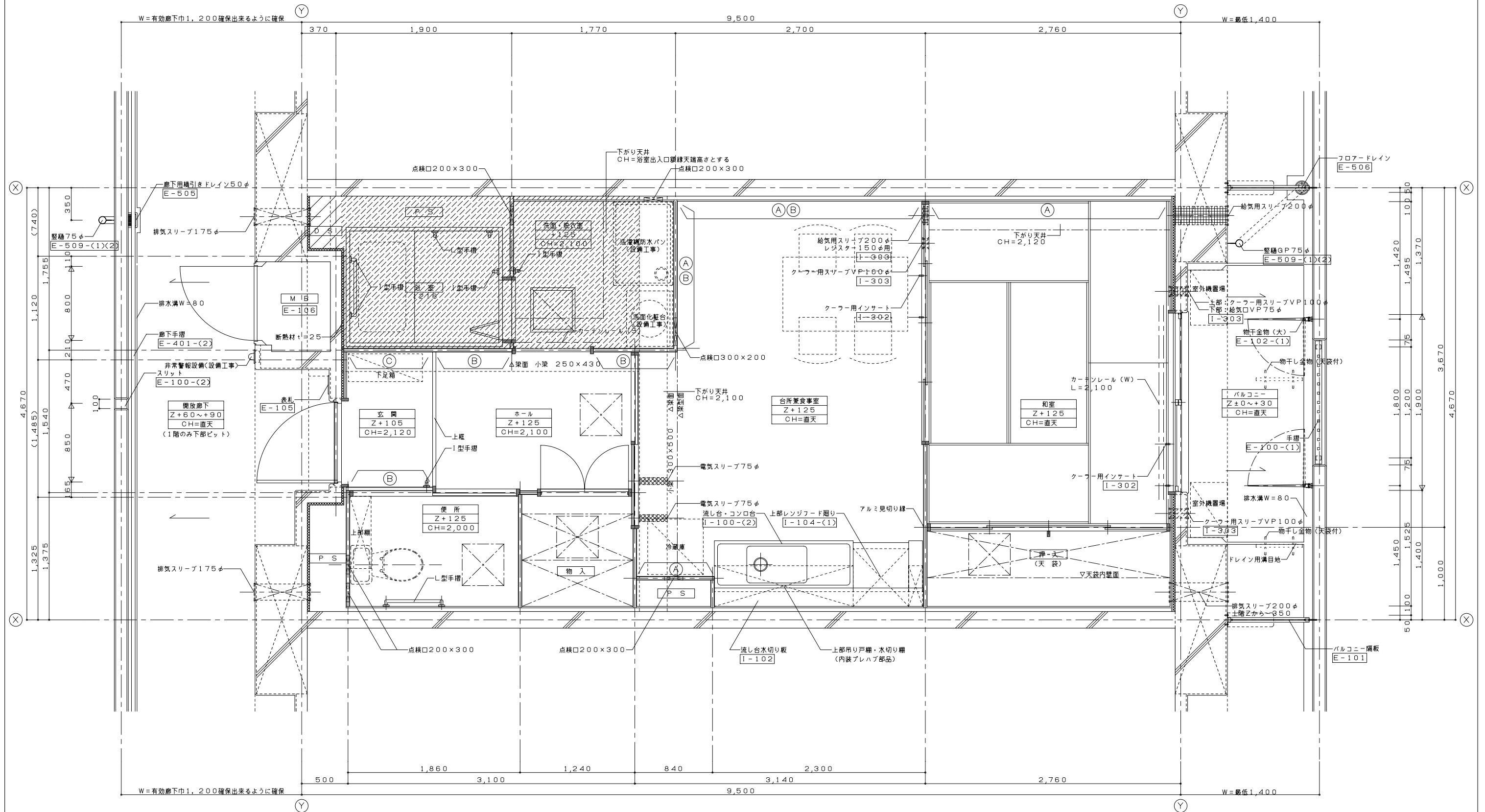


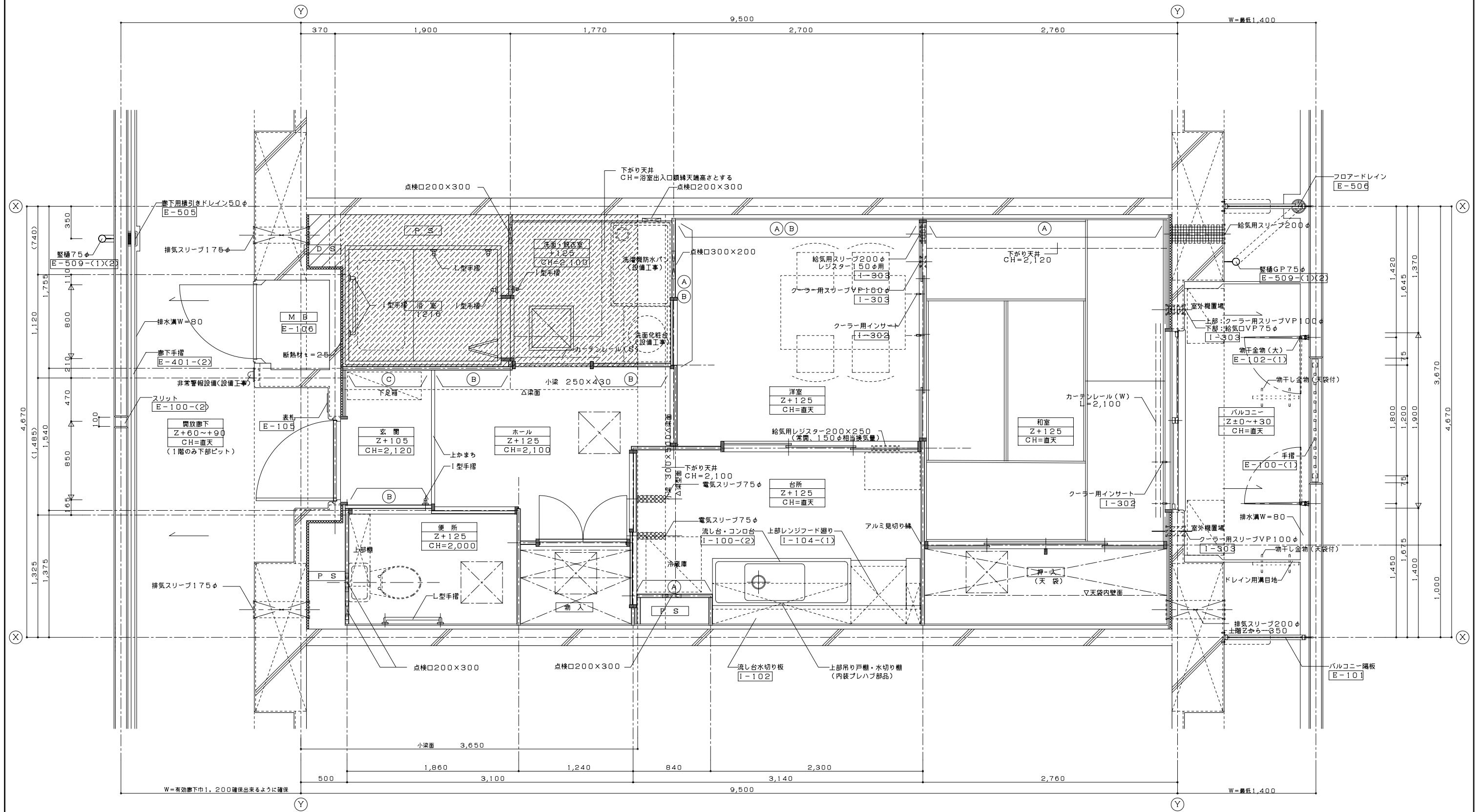
添付図 標準平面詳細図(1DK)



凡例	<ul style="list-style-type: none"> 排気スリーブ 給気口 給気スリーブ(ダクト有り) 部分はスラブ天SL-280 E-番号 大阪府管住宅標準詳細設計図番号を示す。 D-番号 部分詳細図番号を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> クーラー用スリーブ 電気スリーブ 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 転倒防止付柵層 (B) 将来手摺下地補強 (C) 贈高家具等転落防止金具取付下地補強 		
	<table border="1"> <tr><td>室名</td></tr> <tr><td>床高さ(FL)</td></tr> <tr><td>天井高さ</td></tr> </table>	室名	床高さ(FL)	天井高さ	
室名					
床高さ(FL)					
天井高さ					

- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mmを躯体に打ち込む事。
 - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・壁繕の位置については平面図参照のこと。
 - 3) 特記なき限り、床下点検口は450×450、天井点検口は450×450とする(内装部品)。
 - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す(構造図による)。< >寸法は構造による。
 - 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。

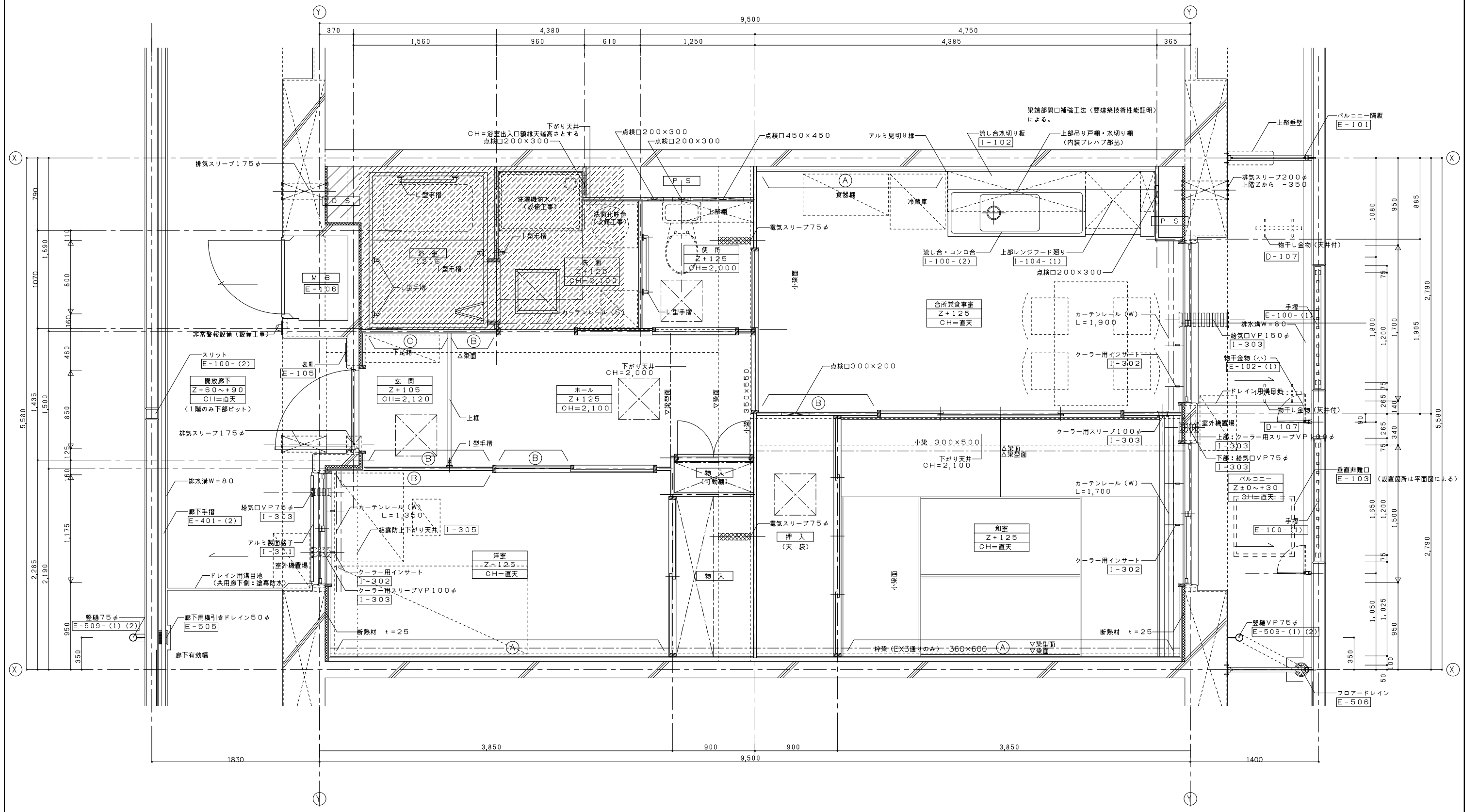
添付図 標準平面詳細図(2K)



凡例		排気スリーブ		クーラー用スリーブ
		給気口		電気スリーブ
例		給気スリーブ(ダクト有り)		部分はスラブ天Z+60
		部分はスラブ天SL-280		部分はスラブ天Z+60
		E-番号	大阪府営住宅標準詳細設計図番号を示す。	
		D-番号	部分詳細図番号を示す。	
		室名 床高さ(F.L.) 天井高さ		

- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B種3種(JISA9511)厚さ25mmを躯体に打ち込む事。
 - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・整地の位置については平面図参照のこと。
 - 3) 特記なき限り、床下点検口は口450×450、天井点検口は口450×450とする(内装部品)。
 - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す(構造図による)。< >寸法は構造による。
 - 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。

添付図 標準平面詳細図 (2DK)



凡例

<ul style="list-style-type: none"> 排気スリーブ 給気口 給気スリーブ (ダクト有り) 部分スラブ天SL-280 E-番号 大阪府管住宅標準詳細設計図番号を示す。 D-番号 部分詳細図番号を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> クーラー用スリーブ 電気スリーブ 部分スラブ天Z+60 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 転倒防止付構層 (B) 将来手摺下地補強 (C) 階高家具等転落防止金具取付下地補強
---	---	--

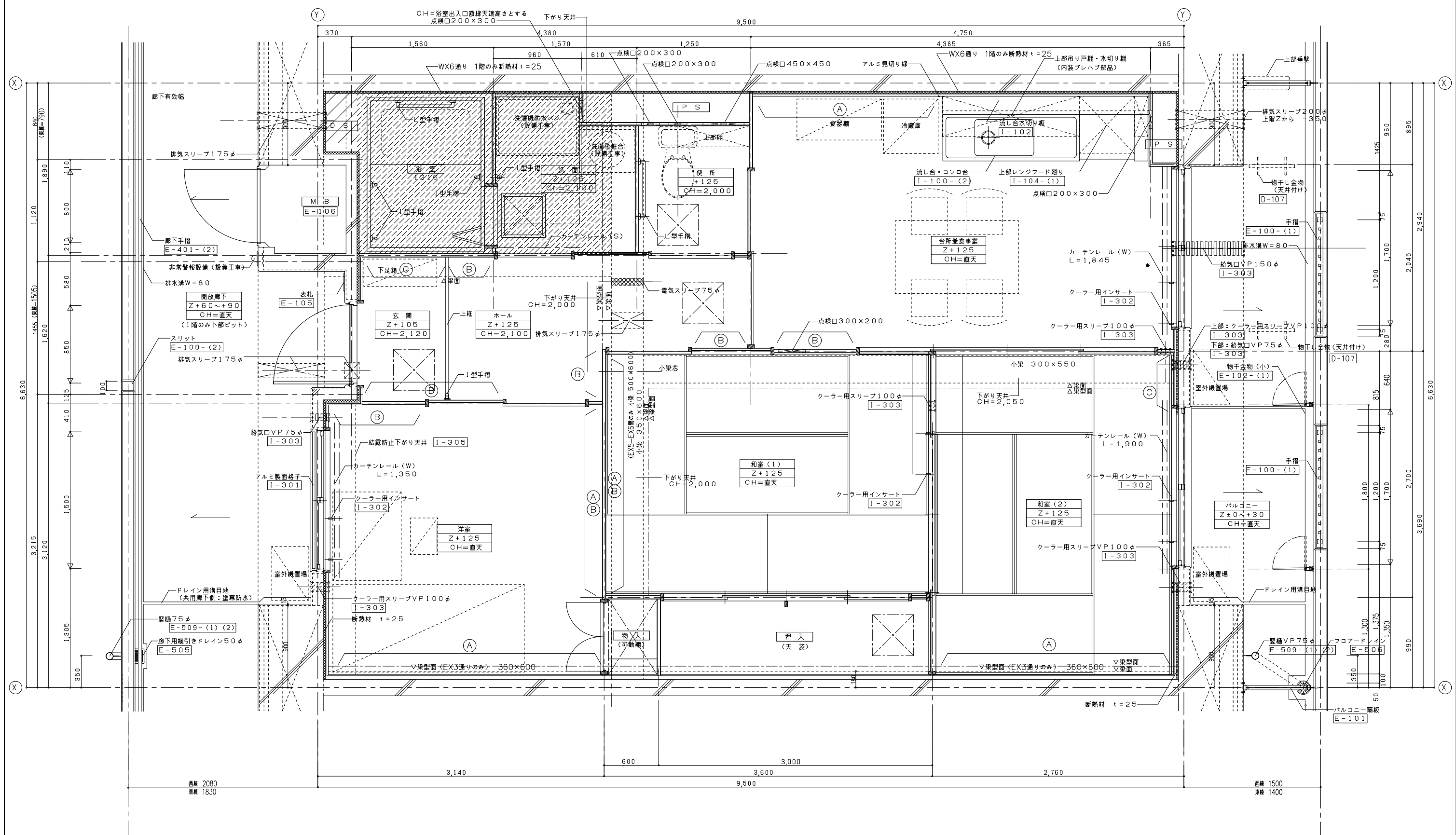
室名	
床高さ (F.L.)	
天井高さ	

- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下 (外壁面から900mm迄) には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種 (JISA9511) 厚さ25mmを躯体に打ち込む。
 - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・壁樋の位置については平面図参照のこと。
 - 3) 特記なき限り、床下点検口は450×450、天井点検口は450×450とする (内装部品)。
 - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す (構造図による)。() 寸法は構造による。
 - 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。
 - 6) 結露防止下がり天井は北側居室の北側壁面に設けること。裏面の結露防止下がり天井については、外壁面等 (外壁面、EVホールや住居以外の室等に接する面) の場合に設けること。

7) 居室天井高さは下記による

階	洋室	台所兼食事室、和室
最上階	2,400	2,400
5~9F	2,475 (直天井)	2,445 (直天井)
2~4F	2,525 (直天井)	2,495 (直天井)
1F	2,575 (直天井)	2,545 (直天井)

添付図 標準平面詳細図 (3DK)



凡例

<ul style="list-style-type: none"> 排気スリーブ 給気口 給気スリーブ (ダクト有り) 部分スラブ天$Z+2.80$ E-番号 大阪府管住宅標準詳細設計図番号を示す。 D-番号 部分詳細図番号を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> クーラー用スリーブ 電気スリーブ 部分スラブ天$Z+6.0$ 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 転倒防止付欄層 (B) 将来手摺下地補強 (C) 階高家具等転落防止器具取付下地補強
--	---	--

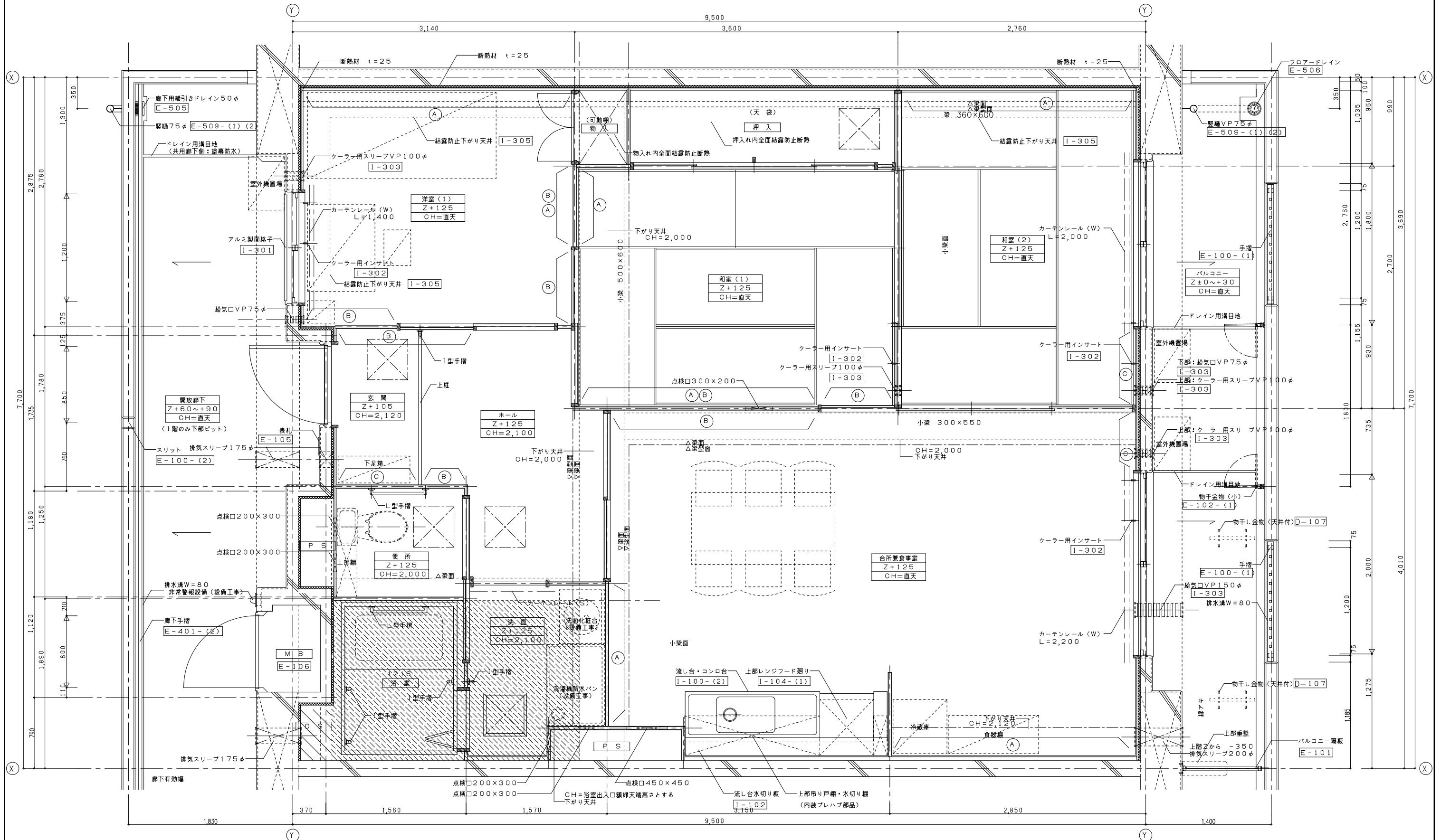
室名	
床高さ (F.L.)	
天井高さ	

- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下 (外壁面から900mm迄) には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種 (JISA9511) 厚さ25mmを躯体に打ち込む事。
 - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・壁障の位置については平面図参照のこと。
 - 3) 特記なき限り、床下点検口は 450×450 、天井点検口は 450×450 とする (内装部品)。
 - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す (構造図による)。() 寸法は構造による。
 - 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。
 - 6) 結露防止下がり天井は北側居室の北側壁面に設けること。妻面の結露防止下がり天井については、外壁面等 (外壁面、EVホールや住居以外の室等に接する面) の場合に設けること。

7) 居室天井高さは下記による

階	洋室	台所兼食事室、和室
最上階	2,400	2,400
5~9F	2,475 (直天井)	2,445 (直天井)
2~4F	2,525 (直天井)	2,495 (直天井)
1F	2,575 (直天井)	2,545 (直天井)

添付図 標準平面詳細図 (3LDK)



凡例

●	排気スリーブ	●	クーラー用スリーブ
○	給気口	■	電気スリーブ
□	給気スリーブ (ダクト有り)	■	部分スラブ天Z+2.80
■	部分スラブ天Z+2.80	■	部分スラブ天Z+6.0
E-番号	大阪府管住宅標準詳細設計図番号を示す。		
D-番号	部分詳細図番号を示す。		

室名
床高さ (F.L.)
天井高さ

(A)	転倒防止付柵
(B)	柵下地補強
(C)	階高家具等転落防止器具取付下地補強

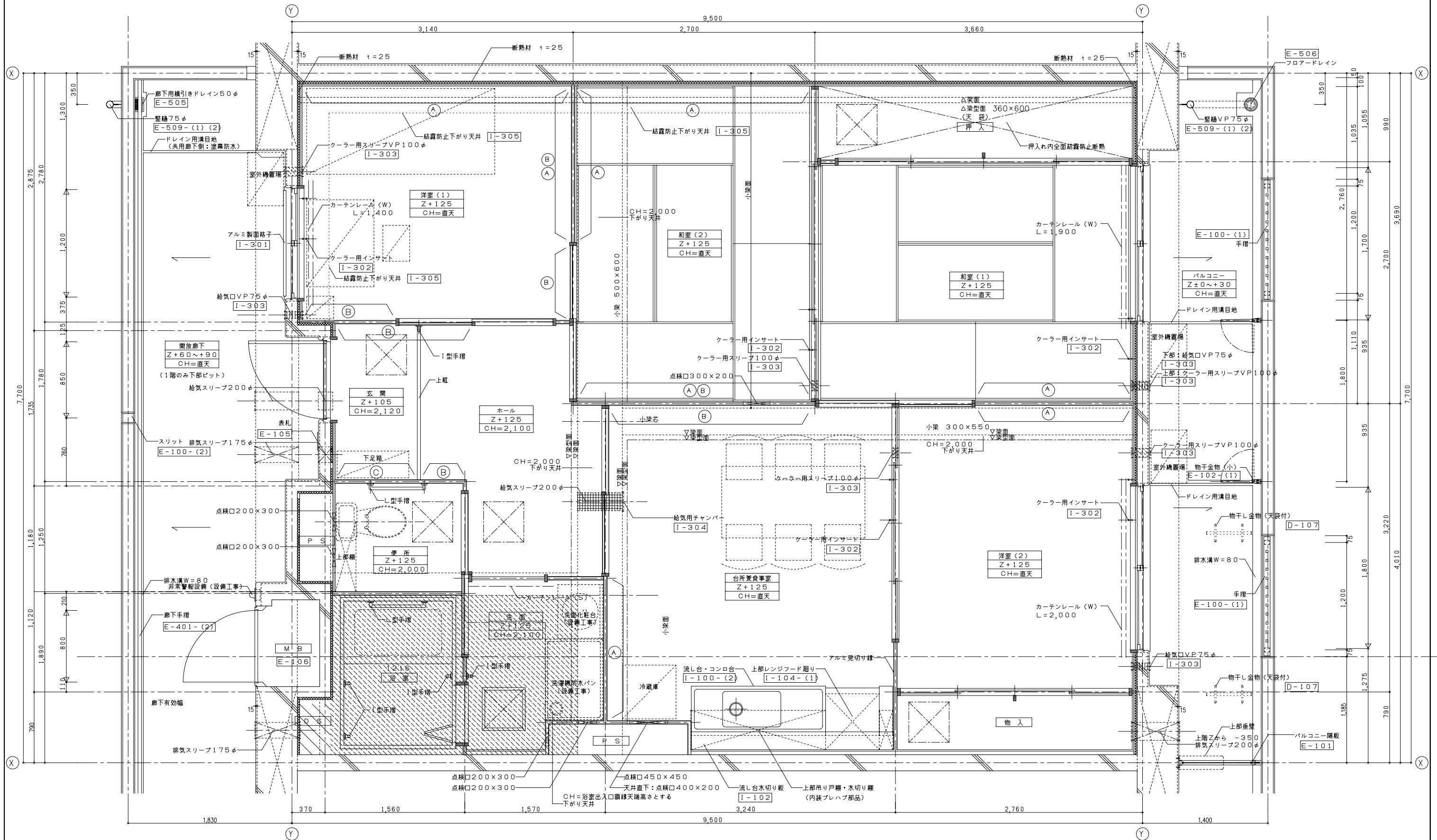
特記事項

- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下 (外壁面から900mm迄) には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種 (JISA9511) 厚さ25mmを躯体に打ち込む。
- 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・壁樋の位置については平面図参照のこと。
- 3) 特記なき限り、床下点検口は口450×450、天井点検口は口450×450とする (内装部品)。
- 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す (構造図による)。() 寸法は構造による。
- 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。
- 6) 結露防止下がり天井は北側居室の北側壁面に設けること。
裏面の結露防止下がり天井については、外壁面等 (外壁面、EVホールや住居以外の室等に接する面) の場合に設けること。

7) 居室天井高さは下記による

階	洋室	台所兼食事室、和室
2~4F	2,470 (直天井)	2,470 (直天井)
1F	2,520 (直天井)	2,520 (直天井)

添付図 標準平面詳細図 (4DK)



凡例

	排気スリーブ		クーラー用スリーブ
	給気口		電気スリーブ
	給気スリーブ (ダクト有り)		部分スラブ天Z+6.0
	部分スラブ天SL-2.80		部分スラブ天Z+1.25
	E-番号 大阪府管住宅標準詳細設計図番号を示す。		D-番号 部分詳細図番号を示す。
	室名		床高さ (FL)
	天井高さ		天井高さ

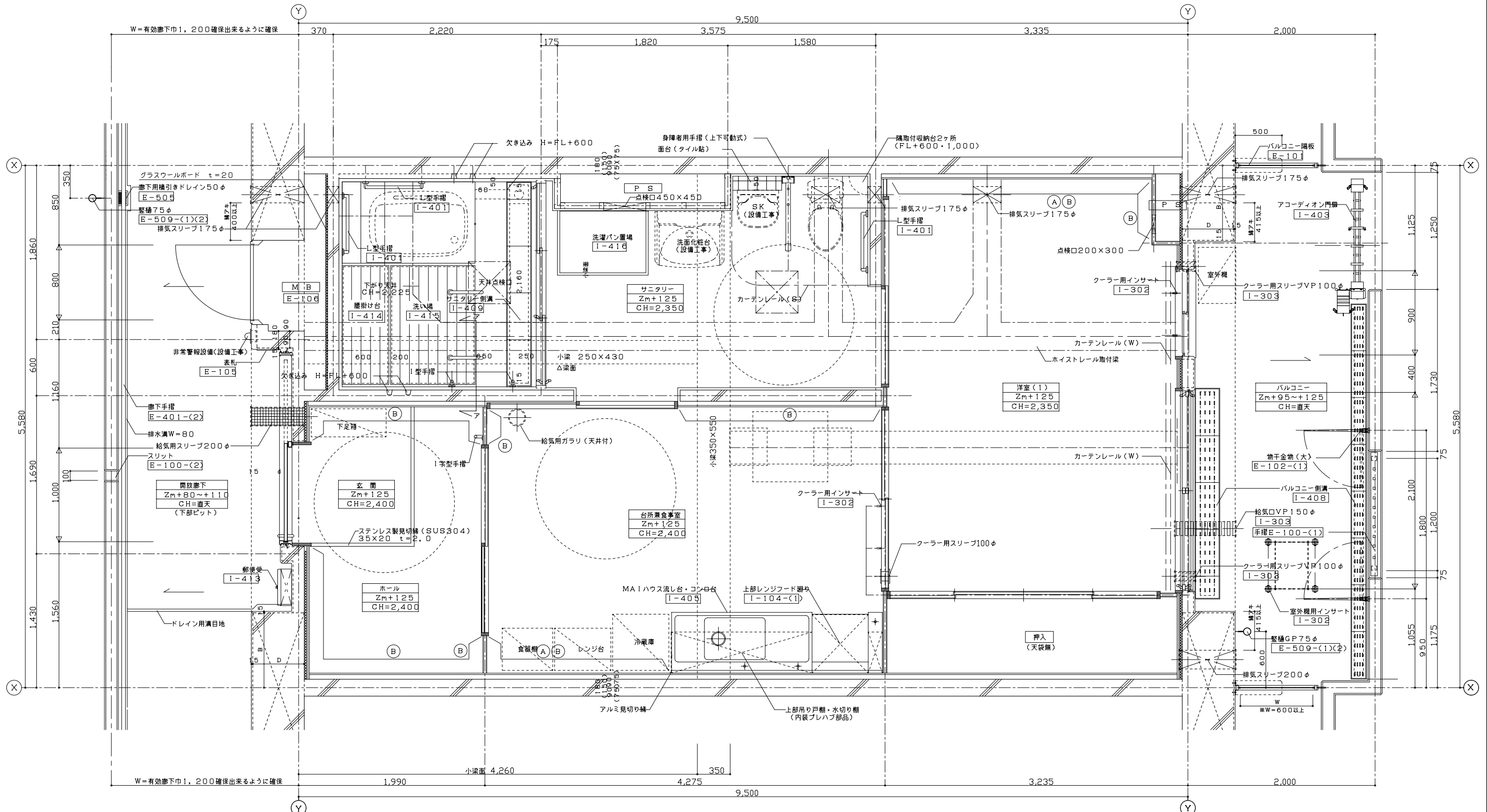
- (A) 転倒防止付欄干
- (B) 押入手摺下地補強
- (C) 階高家具等転落防止器具取付下地補強

- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下 (外壁面から900mm迄) には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種 (JISA9511) 厚さ25mmを躯体に打ち込む事。
 - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・壁構の位置については平面図参照のこと。
 - 3) 特記なき限り、床下点検口は450×450、天井点検口は450×450とする (内装部品)。
 - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す (構造図による)。() 寸法は構造による。
 - 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。
 - 6) 結露防止下がり天井は北側居室の北側壁面に設けること。裏面の結露防止下がり天井については、外壁面等 (外壁面、EVホールや住居以外の室等に接する面) の場合に設けること。

7) 居室天井高さは下記による

階	洋室	台所兼食事室、和室
最上階	2,400	2,400
5~6F	2,420 (直天井)	2,420 (直天井)

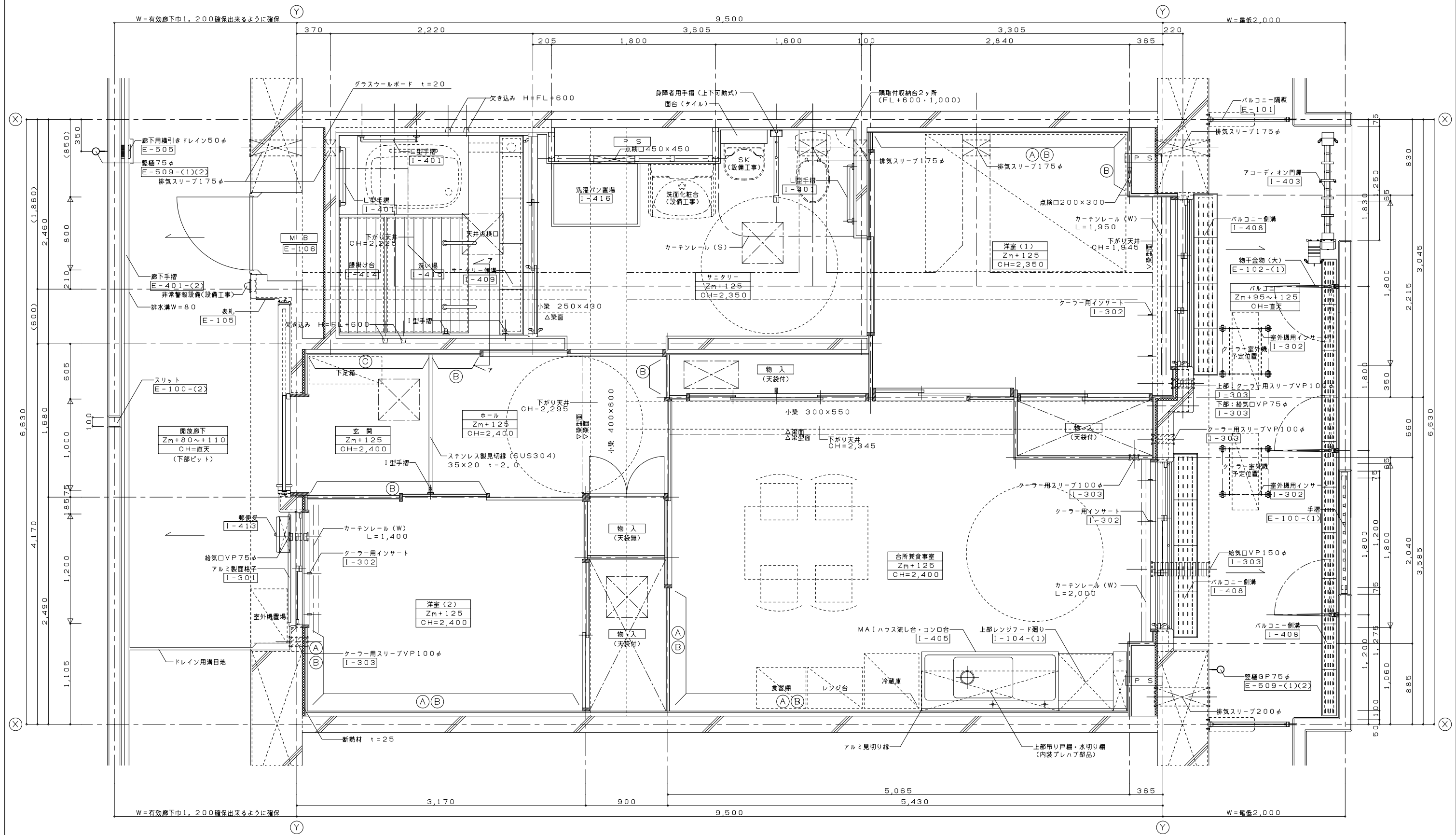
添付図 標準平面詳細図 (MAIハウス1DK)



凡例		排気スリーブ		クーラー用スリーブ
		給気口		電気スリーブ
例		給気スリーブ(ダクト有り)		
		部分はスラブ天SL-280		
		E-番号 大阪府営住宅標準詳細設計図番号を示す。		
		D-番号 部分詳細図番号を示す。		
		室名		
		床高さ(F.L)		
		天井高さ		

- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B種3種(JISA9511)厚さ25mmを躯体に打ち込む事。
 - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・整地の位置については平面図参照のこと。
 - 3) 特記なき限り、床下点検口は口450×450、天井点検口は口450×450とする(内装部品)。
 - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す(構造図による)。< >寸法は構造による。
 - 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。

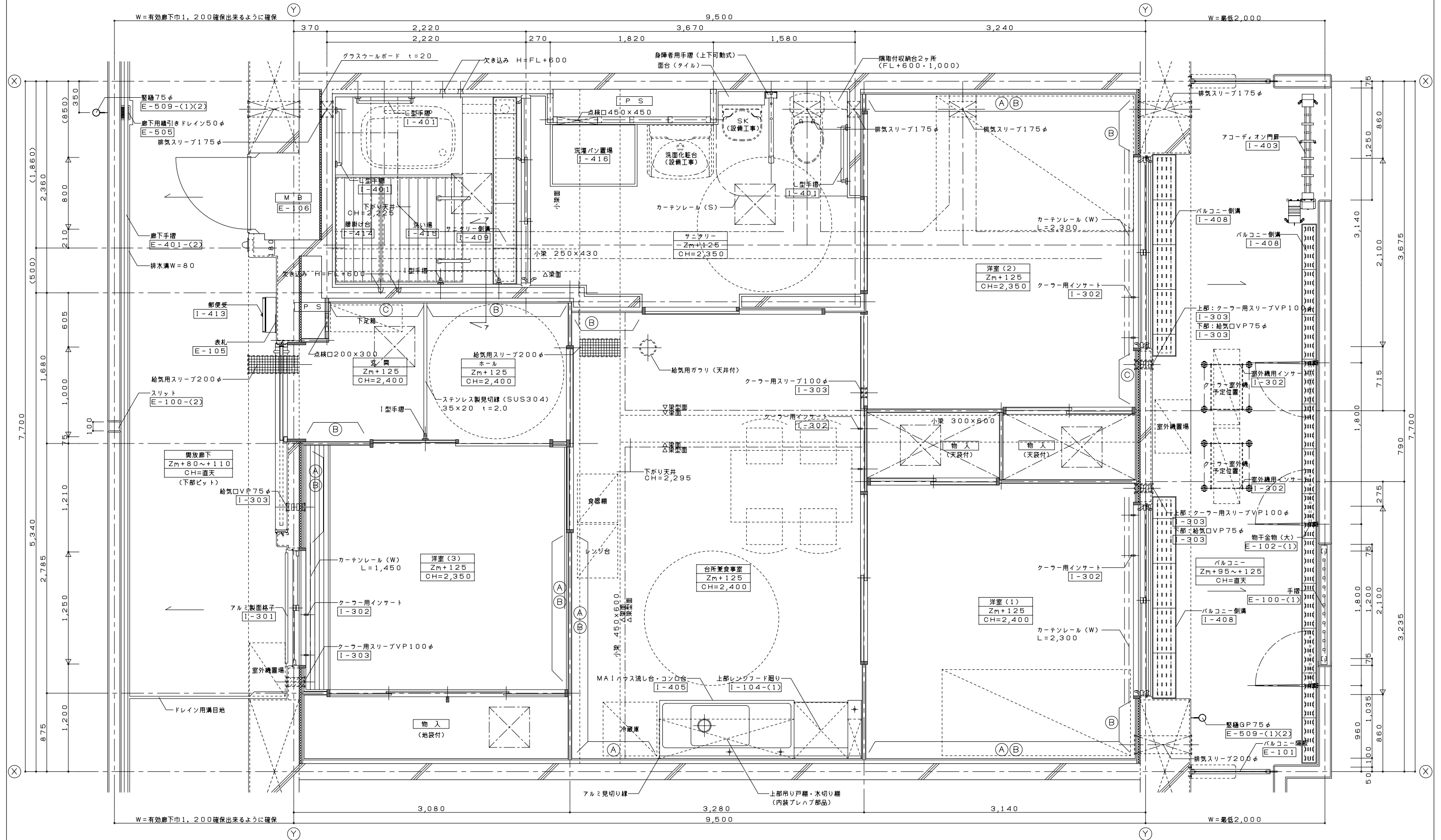
添付図 標準平面詳細図 (MAIハウス2DK)



凡例	<ul style="list-style-type: none"> 排気スリーブ 給気口 給気スリーブ(ダクト有り) 部分スラブ天SL-280 E-番号 大阪府管住宅標準詳細設計図番号を示す。 D-番号 部分詳細図番号を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> カーテンレール 電気スリーブ 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 転倒防止付柵 (B) 将来手摺下地補強 (C) 贈高家具等転落防止金具取付下地補強 		
	<table border="1"> <tr><th>室名</th></tr> <tr><th>床高さ(FL)</th></tr> <tr><th>天井高さ</th></tr> </table>	室名	床高さ(FL)	天井高さ	
室名					
床高さ(FL)					
天井高さ					

- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mmを躯体に打ち込む事。
 - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・壁紙の位置については平面図参照のこと。
 - 3) 特記なき限り、床下点検口は450×450、天井点検口は450×450とする(内装部品)。
 - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す(構造図による)。<寸法は構造による。
 - 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。

添付図 標準平面詳細図 (MAIハウス3DK)



凡例	<ul style="list-style-type: none"> 排気スリーブ 給気口 給気スリーブ(ダクト有り) 部分スラブ天S_L-280 E-番号 大阪府管住宅標準詳細設計図番号を示す。 D-番号 部分詳細図番号を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> クーラー用スリーブ 電気スリーブ 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 転倒防止付柵 (B) 将来手摺下地補強 (C) 腰高家具等転落防止家具取付下地補強 		
	<table border="1"> <tr><td>室名</td></tr> <tr><td>床高さ(FL)</td></tr> <tr><td>天井高さ</td></tr> </table>	室名	床高さ(FL)	天井高さ	
室名					
床高さ(FL)					
天井高さ					

- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mmを躯体に打ち込む。
 - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・壁の位置については平面図参照のこと。
 - 3) 特記なき限り、床下点検口は450×450、天井点検口は450×450とする(内装部品)。
 - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す(構造図による)。<寸法は構造による。
 - 5) *印は各メーカー仕様の寸法による。